

こ ち ら の 本 も よ ん で み て ね !

ムジナ探偵局

913ト 富安 陽子/作, おかべ りか/画 (童心社)

オバケだって、カゼをひく!

913ト 富安 陽子/作, 小松 良佳/絵 (ポプラ社)

ドングリ山のやまんばあさん

913ト 富安 陽子/作, 大島 妙子/絵 (理論社)

菜の子ちゃんと龍の子

913ト 富安 陽子/作, YUJI/画 (福音館書店)

オバケ屋敷にお引っ越し

913ト 富安 陽子/作, たしろ ちさと/絵 (ひさかたチャイルド)

キツネのまいもん屋

913ト 富安 陽子/さく, 篠崎 三朗/え (新日本出版社)

かなと花ちゃん

913ト 富安 陽子/作, 平澤 朋子/絵 (アリス館)

さくらの谷

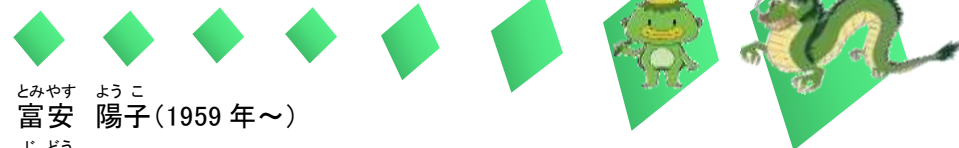
E サク 富安 陽子/文, 松成 真理子/絵 (偕成社)

まゆとおに

E マユ 富安 陽子/文, 降矢 なな/絵 (福音館書店)

こ ども 読 書 の ま ち い ち の み や

とみやす よう こ 富安 陽子の本



とみやす よう こ
富安 陽子(1959 年～)

じ どう
児童文学作家。東京都生まれ。

『クヌギ林のザワザワ荘』で小学館文学賞と日本児童文学者協会新人賞

『小さな山神スズナ姫』で新美南吉児童文学賞

『空へつづく神話』で産経児童出版文化賞

『やまんば山のモッコたち』でIBBYオナーリスト2002文学賞

『盆まねき』で野間児童文芸賞を受賞。

独特の不思議な世界観から生み出される物語がこどもたちに愛されている。



さんしやう
参照『新・こどもの本と読書の事典』



一宮市立中央図書館
2021 年 10 月発行



913ト

やまんば山のモッコたち

やまんばのむすめまゆは、元気いっぱい！かっぱ、雪女に化けギツネ、ふしぎなモッコたちもななまです。里に住むけいたといっしょに、今日もぼうけんが始まります。

富安 陽子/作, 降矢 奈々/画 (福音館書店)



913ト

小さな山神スズナ姫

小さいスズナひめは、山神の一人むすめ。父にみとめてもらうため木の葉ぞめに、いどむことになりました。雲をよび、にじを作り、やりとげることはいけるでしょうか。

富安 陽子/作, 飯野 和好/絵 (偕成社)



913ト

クヌギ林のザワザワ荘

やなる先生は、空とぶ雲の研究者。アパートを追い出されようやく引っ越し先を見つけたけれど、そこにはようかいたちが住んでいて…。きみょうな交流の始まりです。

富安 陽子/作, 安永 麻紀/絵 (あかね書房)



913ト

空へつづく神話

さところにとって神様は気まぐれで、ろくでもないやつです。でも、ある日きおくをなくした神様と知り合って…。へんてこな神様を助ける女の子の楽しい物語。

富安 陽子/作, 広瀬 弦/絵 (偕成社)



913ト

盆まねき

おぼんになるとなっちゃん、おじいちゃんとおばあちゃんの家に出かけます。親せきみんなが集まって、毎日がお祭りみたいだけれど、今年はふしぎな事がおきたのです…。

富安 陽子/作, 高橋 和枝/絵 (偕成社)



913ト

妖怪一家九十九さん

だんち生活を始めたつくもさん一家は、ヌラリヒョンにろくろ首、アマノジャクに一つ目こぞう…と全員ようかい。一番大切なルールは“ご近所さんを食べないこと”です。

富安 陽子/作, 山村 浩二/絵 (理論社)



E カケ

かげバ

夜、目がさめると、ぼくのかげがこっそり出かけるところでした。ぼくは、かげといっしょにまどの外へ…。かげが教えてくれたのは、青い月の夜のすてきなひみつ。

富安 陽子/作, しまだ ともみ/絵 (ひさかたチャイルド)



E オニ

オニのサラリーマン

赤おにのオニガワラ・ケン、じごくづとめのサラリーマン。まんいんバスに乗ってじごくへ着いたら、まずはえんま大王様に、ごあいさつ。今日の仕事は血の池じごくの見はりです。

富安 陽子/文, 大島 妙子/絵 (福音館書店)